

巻頭言

ポリオ友の会東海

神田 公弘

コロナウイルス感染も落ち着いてきました。しかし史上最悪のインフルエンザ感染数を記録するという事態となっています。ポリオの会の皆様も高齢となっており、マスクの着用、うがい手洗いなど十分に注意してください。

2023 年に年実施した自宅マンションのバリアフリー化も無事終了し、自宅に戻って 1 年以上経過しました。床の段差解消。ドアの引き戸化、手すりを十分に設置するなど随分暮らしやすくなりました。床を上げてフラット化する際に高さを合わせるためインナーサッシを設置し更にペアガラスにし、壁、床に断熱材を入れたため断熱効果は飛躍的に改善しました。昨年から障害が著しく悪化して手すりなしでは歩けなくなったため、床の段差解消や手すり増設は非常によかったと思います。今回のリホームで将来動けなくなることを想定し、洗濯は干さなくてもよいようにガス乾燥機を設置しましたが、マンションのため設置場所がなく苦肉の策で寝室のエアコンダクト用の壁の穴を利用して設置しました。掃除はロボット掃除機が掃除しやすいように家具の見直しなどをしました。ただ足が冷えることを考えると、予算的に厳しかったため床暖房を設置しなかったことは後悔しています。とりあえず何年間かは生活できそうですが、完全に歩けなくなったら、引っ越しや施設入所なども検討しなければいけないかもしれません。

皆さんの協力でポリオの軌跡が発行されます。内容は何度も運営委員会で検討を重ねてきました。皆様から集まった投稿文を読ませていただくと、ポリオの軌跡が心に響く内容で、個人的にはより多くの人に読んでほしいと思います。手元に届いたらじっくり読んでくださいね。



自分自身、歳とともに急速に障害が悪化してきています。PPS で特に気になっていることに呼吸器と嚥下障害があります。むせやすかったり、飲み込みにくい状況を感じるが増えれば、誤嚥性肺炎を起こさないよう注意がいると思われます。また、加齢変化や PPS とは無関係な症状もあるため、体の不具合を PPS のためかと思いこむのも危険ですので、不調があれば受診することをお勧めします。